

いろ 色彩の交感

2024 年 7 月 20 日[土]～9 月 29 日[日]

所蔵品の色に着目するコレクション展の第 3 弾「色彩の交感」。2022 年度の「青の魅力」、2023 年度の「白のエスプリ」に続くシリーズ企画です。今回はひとつの色に焦点を絞るのではなく、色と色との組合せ、とりわけ色相の異なるビビットな何色かの組合せに目を向けてみました。

日差しの強い夏には、ものの色がよりクリアに見え、彩度が高く感じられます。そんな季節に相応しい、目に鮮やかな色合いの絵画をセレクトしました。空や木々の葉の鮮やかな色に夏が感じられる作品や、涼を感じられる水辺の風景もあります。また、原色に近い色を部分的に用いたり、強く対比させたりといった特徴的な色使いが印象的な作品もあります。

赤や青、緑、黄などの描かれた色味が、それぞれ主張しながらも互いに引き立て合い、画面上に一体感を生むような、色彩が交感する様を感じていただけたら幸いです。鮮やかな色同士の相互作用をお楽しみください。

■出品リスト

	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	齋藤 應志	裏通り(古町 6 番町新町)	不明	油彩、キャンバス
2	齋藤 應志	異人池	不明	油彩、キャンバス
3	水野 憲一	白山公園	1982	油彩、キャンバス
4	水野 憲一	日和山展望	1985	油彩、キャンバス
5	張替 正次	躍動	1992	アクリル、キャンバス
6	張替 正次	佐渡尖閣湾	2002	油彩、キャンバス
7	関屋 俊彦	夏	1992	油彩、キャンバス